

注意

- 1 この申請書は、公共職業安定所長の受講勧奨、受講推薦を受け、職業訓練を行う際の訓練・生活支援給付金に関する受給資格の認定のためのものです。  
下記の確認書類を添付して、申請者本人が、本人の住居を管轄する公共職業安定所に提出して下さい。
- 2 申請書に添付すべき確認書類は次のとおりですが、これらの確認書類と申請書の内容が異なる場合は、受給資格認定を行うことができませんので、内容をよく確認して記載して下さい。
  - イ 本人確認書類として、次の書類を持参して下さい。  
運転免許証、各種健康保険証、国民年金手帳、母子健康手帳、外国人登録証明書、住民基本台帳カード（氏名、住居、生年月日の記載のあるもの）、旅券その他官公庁発行書類等で、氏名、住居、生年月日の記載があり、顔写真が貼付されているもの
  - ロ 公共職業安定所長の受講勧奨通知書又は受講推薦通知書
  - ハ 世帯の構成者全員（義務教育年齢以下の者を除く）の申請時の前年の1年間における所得を証明する書類（源泉徴収票、確定申告書の控え、市区町村が発行する所得証明書等）（無収入の者については、市町村が発行する前年分の所得証明等（高校生は在校証明書））
  - ニ 世帯の構成者全員（義務教育年齢以下の者を除く。）の前月分の収入を証明するもの（給与明細書又は年金、報酬等が定期的に入金されていることが確認できる預金通帳等）
  - ホ 世帯の構成者が保有する、申請時の残高が100万円以上のすべての預貯金の通帳の写し又は残高証明書
  - ヘ 被扶養者がある場合は、前年の源泉徴収票又は各種健康保険証
  - ト 訓練・生活支援給付金の振込先となる通帳のコピー
  - チ 顔写真（3cm×4cm）
- 3 申請は正しく行って下さい。偽りの記載をして提出した場合には、訓練・生活支援給付金を受けることができなくなるばかりでなく、不正に受給した金額の返還と以後の給付を受けることができなくなります。また、詐欺罪として刑罰に処せられることがあります。
- 4 申請書の記載について
  - (1) □□□□で表示された枠（以後「記入枠」という。）に記入する文字は、光学式文字読み取り装置（OCR）で直接読み取りを行いますので、大きめのアラビア数字の標準字体、カタカナ又は漢字を枠からはみ出さないように明瞭に記載するとともに、この用紙を汚したり必要以上に折り曲げたりしないで下さい。
  - (2) ①欄の氏名欄及び②欄のフリガナ欄は、姓と名の間に必ず1字分の空欄をあけてください。また、⑦欄も申請者の住所を読みやすいように適宜区分して記入して下さい。この場合、カタカナの濁点及び半濁点は、1文字として取扱い（例：ガーカ<sup>ゝ</sup>、パーハ<sup>゜</sup>）、また、「キ」、「エ」、「ヲ」は使用せず、それぞれ「イ」、「エ」及び「オ」を使用してください。
  - (3) ③欄には、元号をコード番号で記載した上で、年月日が1桁の場合は、それぞれ10の位の部分に「0」を付加して2桁で記載してください。（平成3年2月1日→4-030201）。
  - (4) 申請者の電話番号欄は、平日昼間の連絡の取れる電話番号を記入して下さい。
  - (5) 給付金振込先の口座番号欄には、申請者本人名義の預金口座の通帳の口座番号を記載してください。

表面の※印の付いた欄には記載しないで下さい。

家族状況記入欄

氏名	続柄	年齢	職業	住居	年間収入見込額	特別控除額	特別控除理由
				同居・別居			
				同居・別居			
				同居・別居			
				同居・別居			
				同居・別居			
				同居・別居			
				担 当 者 記 入 欄	A年間収入見込額計	B特別控除額計	総収入見込額(A-B)
					申請時点の直近1か月の収入金額に12を乗じて算出した額	万円未満切り上げ	万円未満切り上げ、マイナスの場合、万円未満切り捨て